

No.325

全国整備工場の皆様へ NGP組合員200拠点がお届けする お役立ち情報

2018年4月19日発行 ■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス ■発行/(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ピル2F TEL03(5475)1200

第16回国際オートアフターマーケットEXPO2018、開催

技術革新への対策と新技術の活用案を提示

自動車アフターマーケットに関する幅広 い情報や業界動向を、セミナー、実演、展 示などを通じて発信することを目的とした、 第16回国際オートアフターマーケット EXPO2018が3月14~16日の3日間、 東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催 されました。

276社・団体(前回233社・団体)の 出展者が集まった各展示ブースでは、塗料 やコーティング剤などの材料や、スキャン ツールなどの診断装置、ボデー修正装置や ホイールアライメントテスターといった大 型設備まで、自動車修理・整備に関する各 種設備機器が案内され、来場者数は3日間 合計で37,276人(前回35,195人)に上 っています。

会場内に設置された塗装ブースでは、出 展した塗料メーカー各社が、近年の法規制 の強化によって関心が高まっている水性塗 料を用いた塗装を実演しています。プラサ フ、ベースコート、クリヤーのすべてに水 性塗料を用いたオール水性システムや、湿 度によって硬化が促進されるプラサフなど、 発売前の新製品による実演も展開され、多 くの来場者から注目を集めました。

セミナー会場では、関連メーカーなどが 最新の業界動向や今後の見通しについて解 説する講習会及びカンファレンスが催され

ました。次世代自動車の整備に関するあい おいニッセイ同和自動車研究所のセミナー では、EV、PHEV、FCVなど電動パワー トレーン採用車種の普及を後押しする各国 法規制の動向を解説するとともに、各種シ ステムやバッテリーなどの最新技術を紹介 しました。そしてこれら自動車技術の変化 と今後の動向について解説した上で、電動 パワートレイン、衝突被害軽減ブレーキを はじめとした先進予防安全システム、軽量 化を目的とした新素材など、現在市場に登 場している新技術をしっかりと理解し、修 理・整備技術を習得していくことの重要性 が改めて強調されています。



ジャパンリビルト

DPFや各種ミッション、オルタネーターなどのリビ ルドパーツを展示



松井製作所ウラワ産業事業部

ドライブシャフトや電動パワーステアリングなどの リビルドパーツをPR



イトーパーツ

納品後の作業工数低減につながる、全面サフェーサ - 塗布済みのバンパーなどを紹介



BS サミット事業協同組合

テュフ認証工場の取得など、次世代自動車への対応 に向けた各種取り組みを紹介



全日本ロータス同友会

経営者を対象とした研修制度などをアピールし、入 会を呼びかけた



AIを活用した整備工場向けシステムや、VRによる塗 装トレーニングシステムなどを参考出品



将来を見据えた 事業展開で描く 工場の未来

株式会社AUTO REPAIR KOBE

代表者:中島浩社長 所在地:兵庫県神戸市灘区新在家南町4-11-10

業界動向を捉え、水性塗料を導入

現会長の中島盈(みつる)氏が、AUTO REPAIR KOBEの前進となる中島自動車鈑 金塗装工業所を創業したのは、1969年の ことです。2011年に現社長の中島浩氏と 現専務の中島徹氏が経営を引き継ぐ際、整 備認証工場の認可を取得するとともに法人 化し、現社名へと変更しました。

工場は1階と2階に作業スペースが分かれており、1階で塗装と整備作業を、2階で鈑金作業をするため、車両の移動にはエレベーターを用いています。鈑金スタッフは2名、整備スタッフは1名で、塗装は中島浩社長とスタッフ1名が、フロントは中島徹専務が担当しています。

昨年末にはスタッフの健康や環境への配慮から、水性塗料を導入しました。「スタッフの健康への配慮が最大の理由であることは間違いありませんが、新車に水性塗料が使用されている昨今、補修においても水性塗料を使うことが、今後集客に有利に働くのではないか、という考えもあります」(中島浩社長)。現在は溶剤系と併用していますが、将来的には完全な水性塗料への移行を目指しています。

企業としての「発展」を目指し、 事業を拡大

以前はディーラーからの鈑金塗装請け負いが仕事の中心でしたが、最近は直需の比率が増加しています。直需獲得に効果を発揮したのが、Webサイトです。

自社サイトは以前から運営していましたが、一般消費者にとって分かりやすい内容を意識して新たに作り直していきました。その後2016年にリスティング広告(検索エンジンで、検索結果に連動して表示される広告)を展開して、アクセス数の増加につなげました。昨年にはインターネット集客を支援する企業へ依頼し、自社サイトがさらに検索されやすいように構成を見直しています。

その結果、以前は1割程度だった直需客が2~3割にまで拡大しました。特にこれまでは鈑金塗装で接点を持った既存客からの依頼しかなかった整備サービスに対し、Webサイト経由で車検点検やインターネットで購入した用品の取り付けなどを依頼してくる新規客が増えたことに、大きな手応えを感じています。

2016年には新車塗膜の上に塗装することが可能で、新車塗膜を傷つけずに剥がすことができる、カスタム用ラバー系塗料の施工サービスを開始しました。昨年、今年

と2年連続で大阪オートメッセにドレスアップカスタムカーを出品するなど、新たなサービスのPR及び新規顧客との接点構築に努めています。

直需客が増加する中、予算に制限がある自費修理の案件も少なくありません。「NGPリサイクルパーツは、最も信頼できるリサイクル部品です。価格面はもちろん、状態の詳細までていねいに教えてくれるため、安心して使うことができます。自費修理のお客様に提案すると、非常に喜んでくださいます」と、今後もNGPリサイクルパーツの提案及び活用を、顧客満足度につなげていく方針です。

自動車修理業を中心に事業を展開してきたAUTO REPAIR KOBEが、事業拡大を志向した理由について、中島浩社長は「修理業界全体の市場縮小が避けられない現状を見据えて、仕事量の確保が今後の課題になると考えたためです」と話します。

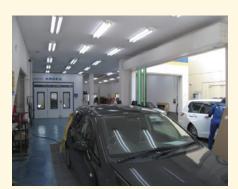
厳しい市場環境を直視し、自社の課題を認識した上で、直需の開拓や新たな事業の展開を着実に進めてきました。「事業を継承していくため、自社の業種・可能性を限定せずにとにかく前進し、発展を目指します」という力強い言葉は、確かな行動力に裏付けられています。



中島浩社長(前列中央)、中島徹専務(前列左)とス タッフの皆様



丁場外観



塗装と整備作業を行う、1階作業場

損害保険料率算出機構、 2016年度版「損害保険料率算出機構統計集」を発表

自動車保険の近年の傾向が示される

損害保険料率算出機構はこのほど、「損 害保険料率算出機構統計集」2016年度版 を発表しました。同統計は損保料率機構が 参考純率または基準料率を算出している、 任意自動車保険、火災保険、傷害保険、自 動車傷害賠償責任保険、地震保険に関する データについて集計したものです。この中 から任意自動車保険の収支や支払い件数の 推移などを紹介するとともに、その理由に ついて考察していきます。

本統計集によると、2016年度の任意自 動車保険の収入保険料(グラフ1)は3兆 7,068億円、支払い保険金(グラフ2) は 1兆8,803億円と、ともに前年度の数値を 下回りました。

補償種目別(表1)にみると、当該年度 中に締結された台数を表す新契約台数と、 保険金の支払い件数がすべての種目で前年 度より減少しています。支払い金額では、 対物賠償と人身傷害が前年度より増加、対 人賠償、搭乗者傷害、車両は前年度より減 少となりました。支払い件数の減少傾向は、 先進安全技術の普及による事故発生件数の 減少による影響が大きいと考えられます。

新契約台数が増加を続けてきた対人、対 物、車両がそろって減少に転じ、それによ って全体の合計台数及び収入保険料も減少 していました。しかし一方で、参考資料と して巻末に示されている自動車保険の収入 保険料(国内損害保険各社の決算数値に基 づく元受正味保険料〈積立保険料を除く〉 の集計値) は、前年実績を上回っています。

本統計集では特殊な契約条件による保険 契約が除かれていることから、1日だけ契 約する超短期型の保険などは統計から除外 されています。また、近年の個人カーリー スの普及に伴い契約件数が増加していると みられる自動車保険の複数年契約について は、保険料が一括支払いの場合は締結年度 のみに契約台数及び収入保険料を記載、分 割支払いの場合は各年度に契約台数と収入 保険料を記載しています。これらの理由な どによって、元受正味保険料の集計値と統 計集の示す収入保険料の合計値それぞれの 推移に、差が生じたものと考えられます。

自動車技術の進化や、個人カーリース、

カーシェアなどの利用方法の変化に対応し て、自動車保険も内容を変化させています。

本資料などの統計は、業界を取り巻く変化

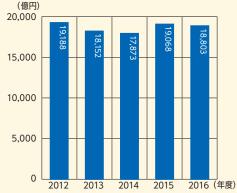
を理解する上で、非常に重要な情報源とな ります。

任意自動車保険・収入保険料の推移



*2015年度から「人身傷害保険」を含む *自動車運転者損害賠償責任保険(ドライバー保険)契約、 販売用・修理工場等受託車、特殊な用途・使用方法の自動車の保険契約及び特殊な条件による保険契約を除く

任意自動車保険・支払い保険金の推移



*2015年度から「人身傷害保険」を含む *自動車運転者損害賠償責任保険 (ドライバー保険) 契約、 販売用・修理工場等受託車、特殊な用途・使用方法の自動車の保険契約及び特殊な条件による保険契約を除く

表1 補償種目別推移

| 補償種目 | | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 対人賠償 | 新契約台数(台) | 55,636,824 | 57,716,209 | 60,073,858 | 62,622,215 | 61,563,180 |
| | 支払い件数 (件) | 502,694 | 494,699 | 469,690 | 453,543 | 432,880 |
| | 支払い保険金 (千円) | 385,723,126 | 385,982,877 | 371,730,128 | 377,255,248 | 363,648,505 |
| 対物賠償 | 新契約台数(台) | 55,515,607 | 57,606,777 | 59,983,666 | 62,538,285 | 61,485,722 |
| | 支払い件数 (件) | 2,681,332 | 2,485,894 | 2,367,644 | 2,302,306 | 2,274,438 |
| | 支払い保険金 (千円) | 690,548,711 | 680,246,786 | 690,682,815 | 686,540,394 | 687,057,710 |
| 搭乗者傷害 | 新契約台数(台) | 32,920,920 | 33,181,360 | 27,321,138 | 23,857,725 | 23,123,216 |
| | 支払い件数(件) | 448,641 | 437,498 | 409,878 | 339,078 | 305,002 |
| | 支払い保険金 (千円) | 72,252,998 | 67,356,036 | 62,664,015 | 52,327,794 | 45,726,186 |
| 人身傷害 | 新契約台数(台) | | - | - | 56,399,365 | 55,725,665 |
| | 支払い件数 (件) | _ | | | 292,640 | 285,022 |
| | 支払い保険金(千円) | | | | 156,590,345 | 158,624,616 |
| 車両 | 新契約台数(台) | 30,694,954 | 31,828,107 | 33,194,848 | 35,326,551 | 34,771,990 |
| | 支払い件数 (件) | 3,276,034 | 2,627,231 | 2,364,526 | 2,208,795 | 2,126,677 |
| | 支払い保険金 (千円) | 770,317,819 | 681,659,954 | 662,245,535 | 634,055,674 | 625,239,825 |

NGP 今月の CO。削減量



リユース部品利用に伴う CO2 削減量

平成30年2月: **2,948**t

※自動車リサイクル部品産学共同研究 会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもと に、NGPが販売したリユース部品の 90品目(左右ある部品を含むと115 品目)を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO。削減量

平成30年2月:

5.3t

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO。排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

自動車業界紙誌との記者懇談会を開催

業界の発展に向けて情報を交換するとともに 「廃車王」の全国テレビCMの開始など新たな施策を紹介

NGP協同組合は3月22日にシナガワ グース(東京都港区)で、自動車業界紙 誌との記者懇談会を開催しました。

挨拶に立った佐藤幸雄理事長は「自動車リサイクル業界とそのサービス内容は、まだまだ一般のカーオーナーから充分には理解されていません。業界側が窓口を広げてこなかったことも、その原因の一つではないかと考えています。NGPは自動車リサイクル業界の認知度向上へ向けた活動に努めて参ります」と、今後の方針を示しています。

杉之間大和総務広報委員長からは、今 期事業方針を受けた取り組みとして進め ていく、新たな施策が発表されました。 まず車両仕入の強化に向けた施策とし て、廃車買い取りサービス「廃車王」の PRを目的に、業界初となる全国規模の テレビCMの放送を開始します。4月から朝の情報番組「とくダネ!」のスポン サーとなり、CMの放送を通じて「廃車 王の認知度向上」、「業界の認知度向上」、 「安心感の醸成」、「期待感の醸成」を訴求していきます。

さらに"NGPのファン作り"を目指した 施策として、「NGP宝くじキャンペーン」 の継続を決定するとともに、「NGPニュ ース・プレゼントクイズ」を新たに開始 しました。

NGPは今後も各種取り組みを通じて、 お客様に選ばれるブランド作りに努めて 参ります。





「廃車王」が業界初となる全国規模のテレビCMを 開始

「NGPサマージャンボキャンペーン 2018」絶賛開催中!! 当選者数は前回の130名から750名に大幅アップ!!

皆様から大変なご好評をいただいております「NGP宝くじキャンペーン」の第3弾、「NGPサマージャンボキャンペーン2018」が、只今絶賛開催中です。キャンペーン期間は4月1日~6月30日までの3ヵ月間です。

今回は応募に必要なギャランティシールの枚数を、前回までの5枚から3枚に変更することで、より応募がしやすくなっています。さらに当選者数も前回までの130名から大幅に増やし、抽選で合計750名の方に「サマージャンボ宝くじ」をプレゼントいたします。

応募用紙は各NGP組合員より皆様に配布するほか、当組合Webサイト(http://www.ngp.gr.jp/)からダウンロードすることも可能です。

なお、ギャランティシールの下側に付いているベルマークは、必ず切り離してからご応募下さい。切り離したベルマークは近隣の学校にご提供いただき、地域社会への貢献にご活用いただければ大変嬉しく思います。

お一人様何口でもご応募いただけます。 皆様からのご応募を心よりお待ちしております。





プレゼントクイズ

クイズに正解した方の中から、 抽選で3名様にクオカード1万円分をプレゼント!

これは、 どの車種の一部?

下記の応募用紙に解答と必要事項を記入して、FAXにて「プレゼントクイズ」係までお送りください。 で応募の締め切りは5月25日到着分までとさせていただきます。 正解はNGPニュース6月号にて発表いたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

■下記の応募用紙に解答と必要事項を記入しFAX をお送りください。FAX 番号はお間違えのないようお願いいたします。

「プレゼントクイズ」係 **応募用FAX番号 03-5475-1209**

| 解答 | お名前 | 職業 | 電話番号 | 年齢 | 性別 |
|----|-----|----|------|----|-----|
| | | | | 歳 | 男・女 |

住所:〒

NGPニュースで取り上げてほしいテーマ:

※ご記入いただいた内容は賞品の抽選・通知・発送のほか、今後の本サービスの参考とするためにのみ使用させていただきます。

NGPニュースNo.323 (2018 年2月号) ブレゼントクイズの 正解はシビックで、30名の方 が正解でした。

北海道・愛知県・岡山県在住の 方3名様に1万円相当のクオ カードをお送りします。今後も 奮ってご応募下さい。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒 108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2FTEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209 http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201 http://www.ngp.co.jp/